

キャラクターの画像



大学図書館の使命「文献提供」バージョン



スキルアップは「なぜ？」から始まるバージョン



「IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験」バージョン



「RDA」のめがねバージョン

## 「うちゅーた」のPR

### うちゅーた とは

大学図書館の支援のために宇宙からやってきた謎の生命体。誕生は母体の IAAL より古く、2005 年頃と推定される。つい最近まで地球上の名前をもっていなかったが、RDA の唱える Bibliographic Universe (書誌的宇宙) <sup>1)</sup>にちなんで、「うちゅーた」と命名された。

これまで宇宙からのモニター画面で顔しか知られず、全身は ET(スティーブン・スピルバーグ) に似ているか? グレムリン (ジョー・ダンテ) 的か? マーズ・アタック (ティム・バートン) の火星人間か? と、映画好きからは色々想像されている。また、実際のところはもっと愛らしいのではないかという説もある (Fig.1)。

ユニバーサルデザインに基づき、性別、文化・人種、年齢を問わず利用可能な形態をしている。IAAL スタッフからは、うちゅーた「坊や」と親しまれているが、IAAL の留守番電話を聞いた人の証言によると、声は「素敵女性のような声だった」とも言われ、性別は不詳である。



Fig. 1 全身想像図

### 実績

大学図書館支援機構が実施する研修事業では、様々な場面でうちゅーたが登場する。大学図書館の使命「文献提供」バージョンを基本として、認定試験には鉛筆をもった姿で現われ、笑顔が特徴的である。

また、RDA 講習会では RDA 型メガネをかけた姿が目撃されている。これは、スキルアップは「なぜ?」から始まる <sup>2)</sup>バージョンの変形であり、クイズ好きな一面をもつ。クイズ、ゲーム (特にパズルアクション系) に強く、宇宙人なりにそのプロトタイプがメガネ姿だと思い込んでいる。

IAAL 認定試験マイスターの証書には、格調高くうちゅーたが現れるが、どのバージョンの姿かは、3 科目以上合格してマイスターを申請した人にしか知られていない。

### 誕生秘話

私立大学図書館協会東地区部会の L-ラーニング研究分科会 <sup>3)</sup>から生まれ、その当時は「エルラ」と呼ばれていた。会と著者の許可を得て、今は IAAL のキャラクターとして活躍している。

<sup>1)</sup> Barbara B. Tillet, Library of Congress 著, 酒井由紀子, 鹿島みづき, 塚越美加共訳. RDA 資源の記述とアクセス: 理念と実践. 樹村房. 2014. p. 9.

<sup>2)</sup> IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験問題集: 専門的図書館員をめざす人へ. 樹村房. 2015. あとがき p. 241.

<sup>3)</sup> L-ラーニング研究分科会 (現在は休会) <http://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/lls/> (アクセス: 2015.10.7)